

## 定例山行

オンソリヤマ

# 恐山

標高 888m

所在地 石川県白山市

地形図 1/2.5万地図 白山市市原

期日 令和8年4月19日(日)

天候 曇り後晴れ

参加者 26名(男性9名・女性17名)

GCL S・Y    GSL S・M    GSL S・Y

5:45 新富観光BC集合、受付。乗車15名。

6:00 新富観光BC出発。

6:30 高岡砺波スマートIC着。11名乗車。

バスに乗り込むと班編成名簿と地図資料のほか参加費2000円の返金が渡される。

GCLより挨拶とGSL2人の紹介がある。また、今日の救急箱、写真、記録担当者の紹介もある。さらに本日の山行のコース説明がある。

参加者は事前にLWのGTRでコンパスの基本と読図について動画配信されて各自で学習してきた。

同席の方と確認し合ってオンソリ山から白山と金剛堂山などの方角をコンパスで測る。地図に方位と角度を書き込む。

オンソリ山の山頂に立ちコンパスを使って山座同定の予定。

7:50 【道の駅瀬名(せな)】にてトイレ休憩

8:20 10分ほどで【白山里(はくさんり)】(交流館)の駐車場に到着。ラジオ体操で体をほぐし、班ごとに集合する。

8:40 1班から4班の順に出発し、林道を歩き登山口へ向かう。林道の法面に白いニリンソウの群生が出迎えてくれる。

いよいよ春の山に突入の期待感でワクワクする。

【笈山(おいずるやま)】と大きな看板、右手に炭焼き小屋の廃屋がある。

標高約280m

8:44 清流の瀬波川にかかる吊り橋を渡る。

吊り橋だけに連なって歩くと、かなり揺れる。手入れの行き届いた杉林の中を歩く。春先の花のチゴユリ、イワウチワ、ヒトリシズカ、ユキザサなど花を見つけては写真を撮る。木洩れ陽でも暖かくて、歩き始めて間もなく汗ばんでくる。



揺れる吊り橋を渡る

9:10 方角を変えて雑木林に変わると急登が始まる。

9:30 標高約530m

1 回目の休憩、衣服の調整と水分補給をする。

この後 750m あたりまで急登が続き、約 25 分ごとに小休憩を重ねる。

まずは展望ポイントを目指す。4 月中旬とは思えないくらい気温が高く日差しも強く感じられ汗が止まらない。急登が続き、私は息が切れる。

足がつり始めた人のために SL が同行し遅れながらもサポートする。

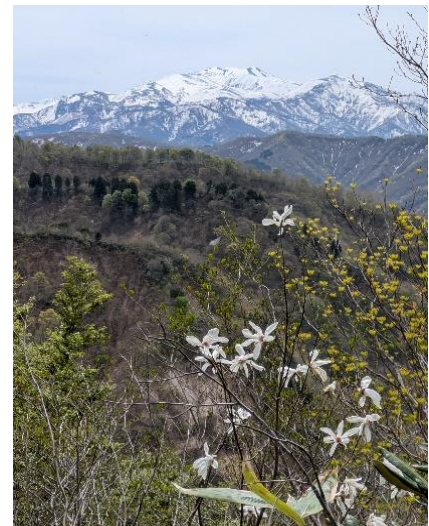
10:00 ブナ林に入る。新緑と青空が目眩しい！ミツバツツジの深紅の花が咲いている。



不思議な大岩 足元にも注意！

10:43 展望ポイントに到着。標高 747m  
南方向に霊峰白山が見える。青空に映えてくっきり浮かび上がる。  
東の谷をへだてた斜面下には、瀬女スキー場（跡）のリフト降り場の建物も見える。アップダウンの繰り返し、足元は木の根が張り、道は狭く気が抜けない。私のアキレス腱が悲鳴をあげている。転ばぬよう懸命に歩く！4 班の CL は時々、後ろを振り返り歩みを止めてくれる。助かります。

時折涼しい風が吹き、汗ばんだ体に心地よい。また、尾根筋道には清楚な白いタムシバと見頃を迎えたピンクのシャクナゲが競演し見せてくれる。登る気力につなげてくれる。この山に来てよかったという時です。



タムシバと白山の眺望



シャクナゲの咲く長い尾根

11:11 鉢伏山に到着、標高 851m。暫しの休憩、行動食をとる。ブナ林が美しい。北東方面に【笠山】という看板を見てから反対の南西方面に進路を変えて笈山を目指す。

痩せ尾根が続く。華やかなシャクナゲロードも続きます。日差しが届くこの尾根は今、シャクナゲが主役のようです。

12:10 笈山着、標高 890m。白山がより大きく見えます。

12:50 三座目、オンソリ山に到着。

標高 888.6m の看板と三等三角点あり。

山頂は思いのほか広くてブナ林で昼食タイムとなる。

澄んだピーイピーイと繰り返す囀り

(なんて名の? どんな鳥だろ? Hさん教えて!)

を聴きながら清々しい林の中で摂る食事は登山の大

きな楽しみの1つです。後方の遅れた方も25分ほどで無事に到着されたよう  
です。

13:40 ブナ林の向こうに白山が見える場所へ移動して集合写真撮影。達成感を感じる  
時です。

カタクリのイラスト入りのGCL手作り山名幕です。イイね!

13:45 下山開始

100mほど下ると急勾配、今度はつま先に力を入れて小股でジグザグに歩きずり  
落ちないように踏ん張る。

後方のCLが「休憩直後30分くらいの下山が怪我の発生率第1位だそうです。  
注意してください!」と皆さんに大声で呼びかける。

足元の浮き石が幾度となく転がりその度に「ラク、ラク、ラク」と叫ぶ!

オオカメノキの瑞々しい葉と白い花が目にとまるが、急斜面なのでカメラを  
向けることはできない。

途中に馬の背と呼ばれる荒れた細い尾根を通過する。

14:40 つづら折りの登山道の東斜面にカタクリ群生の看板。

斜面にはカタクリの葉が数多く残る。カタクリの花はもう終わったようです。  
見回してもどこにもお花はついてません。

更にくだと【瀬波のカタクリ群生地へようこそ】と大きな看板がある。

「カタクリはユリ科の多年草で寿命は40年、種子から7~8年後にようやく花  
を咲かせるという絶滅危惧種です。その姿から【春の妖精】とも…

平成28年に廃道の登山道整備に伴い、伐採  
した雑木林に光が届き、また蟻がその種子を  
拡散したことで翌年に2ha斜面に大出現した」  
と説明あり。最盛期のカタクリの写真は一带を  
ピンクに染め尽くして圧巻、夢のような景色  
です。季節を違えてこの目で見たいもの…



カタクリ (Kさん提供)

15:13 エイ谷の下山口に全員無事に下山。

新富観光のバスが、キャンプ場そばに待機している。乗車

15:25 帰路、富山に向けて出発。予定より約1時間遅れる。



オンソリ山 山頂▲

車中、担当役員より

「気温が思いのほか高くなったことで、早め早めの水分補給が重要。班の SL、GL が十二分に役目を認識されて配慮ある歩きとなり、班としてまとまった行動ができていて良かった」と話される。

また、山行案内が【初級】の表示でしたが、ランキング付けの見直しも必要かのお声も。

頑張って全員無事に歩けたので「よし、儲けた！」としまししょうね。

15:50 【道の駅しらやまさん】に立ち寄りトイレ休憩。

恒例のソフトクリーム、コーラをいただく。

17:15 高岡砺波スマート IC 着 。11 名下車

17:40 新富観光 BC に到着 。解散

今回の山行を振り返って

青空、温かい日差しのなか山野草や花を愛でながら歩けるのは幸せルン！ルン！

古い山ガール？としては、変化に富む痩せ尾根の縦走はとても歩きが良かったです。

おまけに白山眺望はスペシャルご褒美！何度みても感激です。

計画、準備、お世話いただいた担当役員と皆さんのおかげです。充実したいい 1 日になりました。感謝です。

(No. 789 T・K